

おくざわ 高広

東京都議会議員
(町田市選出)



「無所属 東京みらい」とは…おくざわ高広(町田市選出)、齊藤れいな(多摩市・稲城市選出)、森沢きょうこ(品川区選出)の3人が所属する会派です。AIを活用して課題を見える化するなどの新しい政策立案も取り入れながら、「誰もが自分らしく、誇りと生きがいと居場所をもって、幸せになれる“世界で一番輝く都市”」を目指しています。詳しくはHPをご覧ください。



[プロフィール]1982年生まれ(38歳)、栃木県立佐野高校、慶應義塾大学法学部政治学科卒。不動産会社、学習塾・通信制サポート校運営、衆議院議員公設秘書を経て、2017年初当選。都市整備委員会、オリ・パラ特別委員会 委員

TOPIC

令和2年第2回臨時会 新型コロナ対策3,101億円の補正予算が成立!

厚生委員会にて、医療体制や暮らしのセーフティネットについて質疑!



齊藤れいな
(政調会長)

多摩市・稲城市選出

Q 介護・障害福祉サービスを担う従事者への慰労金について伺います。新型コロナ対応を担ってきた方々の身体的・精神的負担は、今なお大きく、1人あたり5~20万円の慰労金を届けることは重要です。その対象となる約65万人に対し、速やかに支給すべきと考えますが、見解を伺います。

A 申請手続きをすみやかにを行うためには、事業者から漏れやミスなく申請書類を提出いただくことが重要。都は専用のホームページを開設するとともに、コールセンターを設置するなどきめ細かな支援を行う。

経済・港湾委員会にて、ウィズコロナの経済活動・失業者対策について質疑!



森沢きょうこ

品川区選出

Q 都は、新型コロナの影響による離職者500人を対象に、1か月のトライアル雇用(派遣)と正社員として雇用する企業への助成金をあわせた就労支援を行いますが、現時点で6,000名、さらに増える可能性のある失業者の支援について、都の考え方を伺います。

A 都は、今年度当初より、就職氷河期世代の方への就職支援を始め、求職者のニーズに合った支援を実施。多様な支援策を一体的に展開することによって、新型コロナの影響により離職した方への早期の再就職を後押ししていく。

全体の質疑については、東京都議会インターネット中継や議事録からご覧いただけます。

「無所属 東京みらい」が力を入れてきた取組や「新型コロナ対策」補正予算のポイントをご紹介します!

感染拡大を防ぐ! 実現

- 都立・公社病院への特殊勤務手当の増額(条例改正)*
- 新型コロナ患者受け入れ医療機関臨時支援金 **200億円**
- 介護・障害・児童福祉施設等における感染防止対策支援 **458億円** など

暮らしを守る! 実現

- ひとり親家庭への食料品等の支援*
- 児童虐待・DV等相談への支援 **7800万円**
- 就労系障害福祉サービス等の支援 **4億4000万円** など

経済活動を続ける! 実現

- 国の家賃給付に上乗せ支援 **440億円**
- 飲食事業者のテイクアウトやデリバリー支援 **43億円**
- 非接触型サービス導入による業態転換支援* など

雇用につなげる!

- トライアル就労から正社員としての就職を支援 **3.8億円**
- IT人材育成支援事業 **2億円** など

これまでの支援策も含めて、詳しくは、東京都新型コロナ支援情報ナビをご覧ください>>>



※は前回補正予算

都議会議員定数条例が改正! 大田区8人→7人、練馬区6人→7人

東京都議会では、各選挙区の「一票の格差」をただすため、人口と定数が逆転している8選挙区について、定数を是正する議論がなされました。

「定数が多いとされる選挙区」			「定数が少ないとされる選挙区」		
選挙区名	人口比例配分定数 ()内は人口	現在の定数	選挙区名	人口比例配分定数 ()内は人口	現在の定数
大田区	7人(717,565人)	8人	世田谷区	9人(900,391人)	8人
杉並区	5人(564,846人)	6人	練馬区	7人(722,108人)	6人
新宿区	3人(333,363人)	4人	江戸川区	6人(680,305人)	5人
墨田区	2人(256,416人)	3人	江東区	5人(498,144人)	4人

「無所属 東京みらい」は、人口と定数が逆転しており、最高裁判所からの指摘もある「4増4減を早急に実現すべき」と考え、1増1減案では不十分として、反対しました。(採決の結果、賛成多数で可決。)

今回の経験から「議員自身が議員定数を決めることは難しい」と実感しました。だからこそ、議論の過程を情報公開することが、都民の皆様の十分な理解や、公正で信頼のおける都政運営に繋がるものと考えます。自身の立場を守るのではなく、「都民の利益」を最大化する仕組みをつくるために、最後まであきらめずに「ふるい都議会をあたらしく」するよう取り組んでいきます。

新しい日常へ向けて、ご協力をお願いします。



大声での会話を避け、感染拡大防止協力店をえらびましょう

